

## 令和4年度農作物病虫害発生予察注意報第5号

令和4年8月19日  
山口県病虫害防除所

病虫害名 **ダイズの吸実性カメムシ類**  
(イチモンジカメムシ、アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソヘリカメムシ等)

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月下旬～10月
- 3 発生程度 多

### 4 注意報発令の根拠

- (1) 8月上旬の巡回調査において、ダイズの吸実性カメムシ類の発生ほ場率 52.4% (平年 32.8%)、1㎡あたり払い落とし虫数 0.4 頭(平年 0.2 頭)で平年に比べやや多かった(図1)。主要種はイチモンジカメムシ、アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソヘリカメムシであった。
- (2) 県内4か所の予察灯における7月1日～8月15日のダイズの吸実性カメムシ類の誘殺数は161頭(平年59頭)で、平年に比べ多かった(図2)。内訳は、アオクサカメムシ75頭、ミナミアオカメムシ66頭、イチモンジカメムシ20頭であった。
- (3) 福岡管区气象台発表の1か月予報では、今後1か月の気温は高い。そのため、今後、本虫による被害増加が懸念される。

### 5 防除方法

- (1) 莢伸長期(開花期後30日頃)と子実肥大期(開花期後45日頃)の防除を徹底する。
- (2) 薬剤散布後にもカメムシ類の発生が認められる場合は、追加防除(開花期後60日頃)を実施する。ただし、開花期は各ほ場の品種や生育状況によって異なるので、開花期を十分確認のうえ、カメムシの発生状況を確認し、防除を実施する。

【参考】令和4年産「サチユタカ」の開花期と防除時期の目安(山口市大内)

播種月日	開花期	防除時期	
		莢伸長期 (開花期後30日頃)	子実肥大期 (開花期後45日頃)
6月17日	7月31日	8月6半旬	9月3半旬
7月5日	8月14日	9月3半旬	9月6半旬
7月25日	8月6半旬頃	9月6半旬	10月3半旬

- (3) 防除薬剤は令和4年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準による。  
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22316.html>

### 6 防除上注意すべき事項

- (1) 防除の際は、ダイズの莢に薬剤が十分かかるよう散布する。

- (2) 薬剤抵抗性を発達させないため IRAC コードを考慮し、同一系統薬剤の連用は避ける。
- (3) カメムシ類は広範囲に移動するので、広域で一斉防除すると効果が高い。
- (4) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。

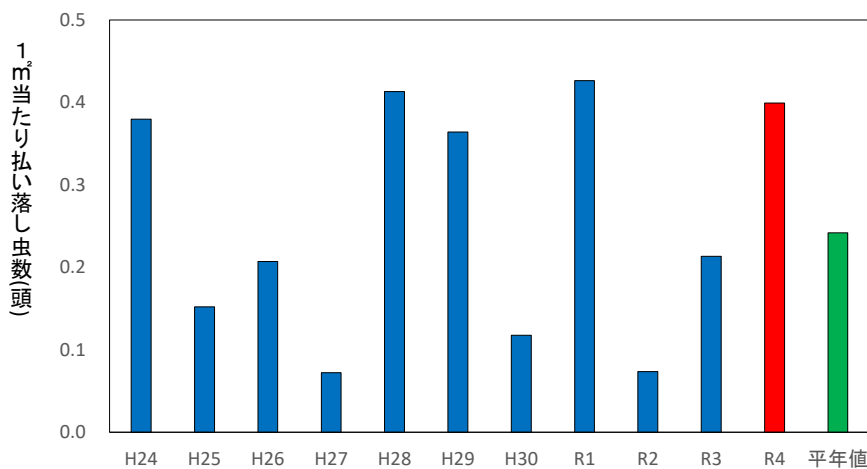


図1 ダイズの吸実性カメムシ類の年次別払い落とし虫数（8月上旬）

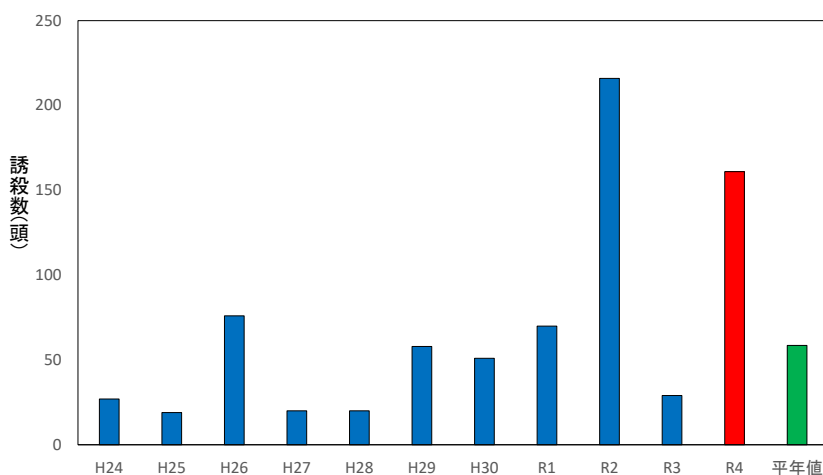


図2 ダイズの吸実性カメムシ類の年次別予察灯誘殺数（7/1～8/15）  
※アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシの合計



イチモンジカメムシ（成虫）



アオクサカメムシ（成虫）



ホソヘリカメムシ（成虫）